

rd-10. オブジェクトの セーブとロード

データサイエンス演習
(R システムを使用)

<https://www.kkaneko.jp/cc/rd/index.html>

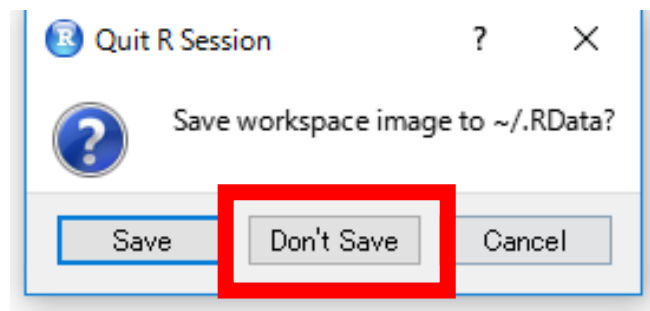
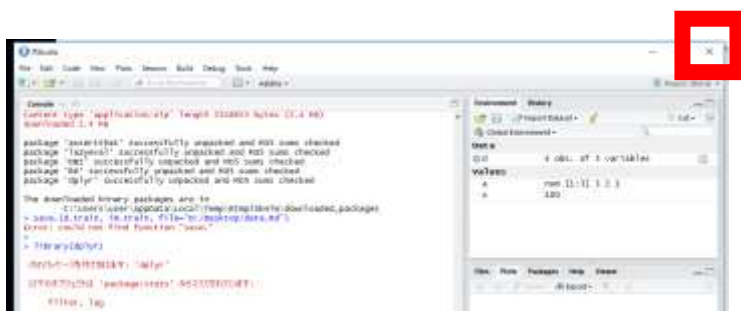
金子邦彦



ワークスペースのロード



- 試しに RStudio を、一度終了してみる（わざと「Don't Save」）



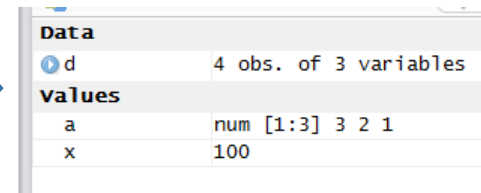
わざと RStudio のワークスペース保存機能を使わない

- もう一度 RStudio を起動してロード



```
> load("C:/hoge/foo.Rd")
```

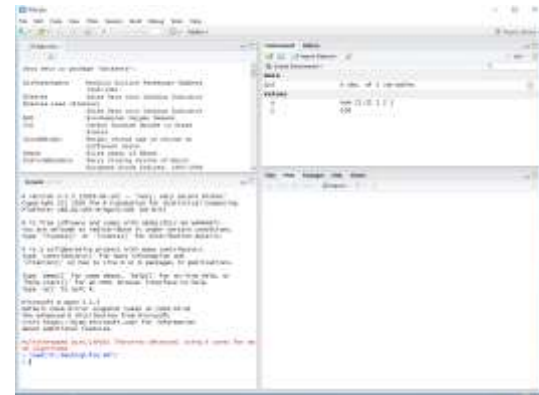
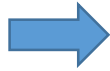
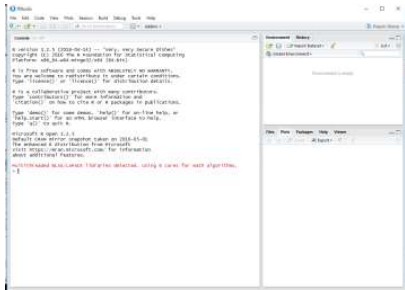
ロード



「Environment」に復活

「Environment」に残っていない

セーブする理由



他のパソコンで取り込みたい場合

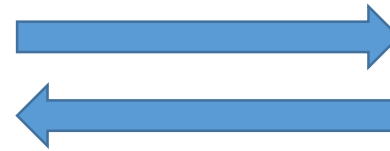
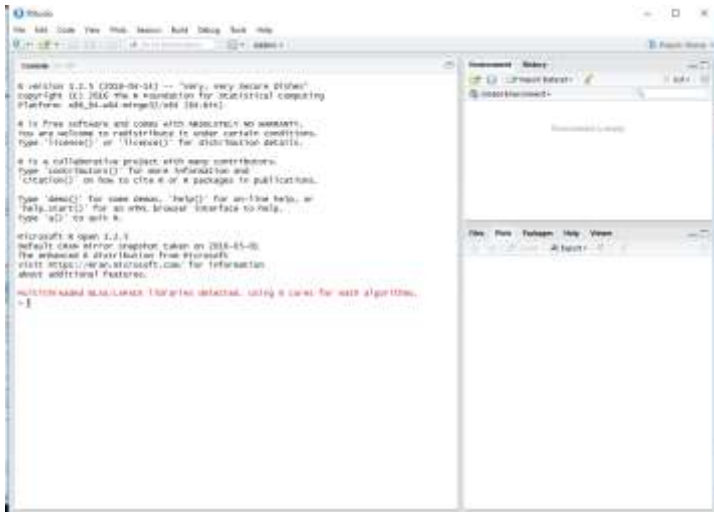
※ **ワークスペース**には、最新の値しか残っていない。
ある時点のオブジェクトを保存しておきたいときは、
セーブが便利。

オブジェクトのセーブとロード



セーブ（保存）

- ◆セーブしたいオブジェクトのオブジェクト名を指定（複数可）
- ◆ファイル名、ディレクトリ名も自由に設定可能（但し日本語は避ける）



ロード

- ◆ファイル名、ディレクトリ名を指定

Rシステム

- ◆ オブジェクトはワークスペース中にある
- ◆ RStudio にはワークスペースの保存機能がある

save



オブジェクト名 (変数名)	クラス (タイプ)	コンストラクタ
x	数値	100
a	リスト	c(3, 2, 1)
d	データフレーム	data_frame(name=c("apple", "rose", "rose", "tomato"), color=c("red", "white", "pink", "red"), price=c(100, 400, 200, 40))

```
library(dplyr)
x <- 100
a <- c(3, 2, 1)
d <- data_frame(
  name=c("apple", "rose", "rose", "tomato"),
  color=c("red", "white", "pink", "red"),
  price=c(100, 400, 200, 40) )
save(x, a, d, file="C:/hoge/foo.Rd")
```

```
> x <- 100
> a <- c(3, 2, 1)
> d <- data_frame(
+   name=c("apple", "rose", "rose", "tomato"),
+   color=c("red", "white", "pink", "red"),
+   price=c(100, 400, 200, 40) )
> save(x, a, d, file="C:/hoge/foo.Rd")
>
```

※ 「**C:/hoge**」のところは、**作業用のディレクトリ名**に読み替え
(すでに存在し、書き込み権限のあるディレクトリ)

ワークスペース内のオブジェクトの破棄



remove(<オブジェクト名>)

により、ワークスペース内のオブジェクトを破棄できる

```
> remove(a)
> remove(d)
> remove(x)
```

```
> remove(c)
warning message:
In remove(c) : object 'c' not found
> |
```

remove(c) では、**存在しないオブジェクト** c を指定しているため、警告メッセージが出る